

戴帽式あらため

「誓いの式」を挙行いたしました

入学してから半年、基礎的なことから専門的なこと、特に人間の体の仕組みを学ぶ解剖生理学や疾病論の難しさに頭を抱えることもありました。6月の実習では、初めて看護師の立場から患者さんと接し、患者さんにとっての看護師の必要性や看護師の責任を学ぶと同時に、自分に看護という仕事が務まるのだろうかと不安を抱きました。誓いの式を終えた今、私の中に強い決意が生まれています。確実な知識や技術を習得できるよう学び続ける姿勢を大切にして技術練習を積極的に行っていこうと思います。時には、大きな壁にぶつかることもあると思いますが、同じ夢を持つ仲間と支え合い、高め合いながら感謝の気持ちを忘れず、看護の道を歩んでいきたいと思っています。

“1年生代表:木村優希”

